

研修会報告

平成 29 年 6 月 3 日

文責：遺伝子・染色体部門 三宅 温子

研修会テーマ「遺伝子検査を身近に感じよう！」

開催日時 平成 29 年 6 月 3 日（土）14：00～17：00

会場 東北大学医学部 小講堂

司会：光ヶ丘スペルマン病院 臨床検査科 三宅 温子

「遺伝子検査の基礎」アークレイマーケティング株式会社

座長：大崎市民病院 臨床検査科 氏家 和明

「近年、保険収載となった遺伝子検査項目の紹介」

講師：アークレイマーケティング株式会社

講演 1

座長：東北医科薬科大学病院 検査部 小堺 利恵

「遺伝子検査の基礎」

講師：東北大学病院 検査部 小原 保彦

講演 2

座長：東北大学病院 検査部 鈴木 千恵

「日常検査における遺伝子検査の実際」

講師：仙台医療センター 臨床検査科 真山 晃史

17:00 終了

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 43 名 非会員 1 名 賛助会員 7 名 学生 1 名 合計 52 名

内容

今回の遺伝子・染色体部門研修会は第 1 回目であり、テーマは「遺伝子検査を身近に感じよう！」である。講演 1 では遺伝子検査の基礎について遺伝子とは？から始まり遺伝子検査の意義・目的、遺伝子検査を実施するための環境、検体の取り扱いと基本的な手技、遺伝子検査法に至るまで豊富な内容でご講演頂きました。遺伝子検査の全容を伺え、大変勉強になりました。講演 2 では日常検査における遺伝子検査の実際について現場の技師から分かりやすくご講演頂きました。実際の検査について、スライドで紹介し、また症例を挙げ、具体的に解説もして頂き大変勉強になりました。

参加者は、遺伝子検査を担当したことのない方、実習/研究のみ経験の方、実際担当している（いた）方、また担当分野においても病理・血液・生化学・微生物・一般・自宅会員・学生と幅広く、実務員を含めた参加者は最後まで熱心に聴講していました。今後も宮城県臨床検査技師会員のために楽しく学べる遺伝子検査研修会を開催し、勉強する場を提供したい。

